

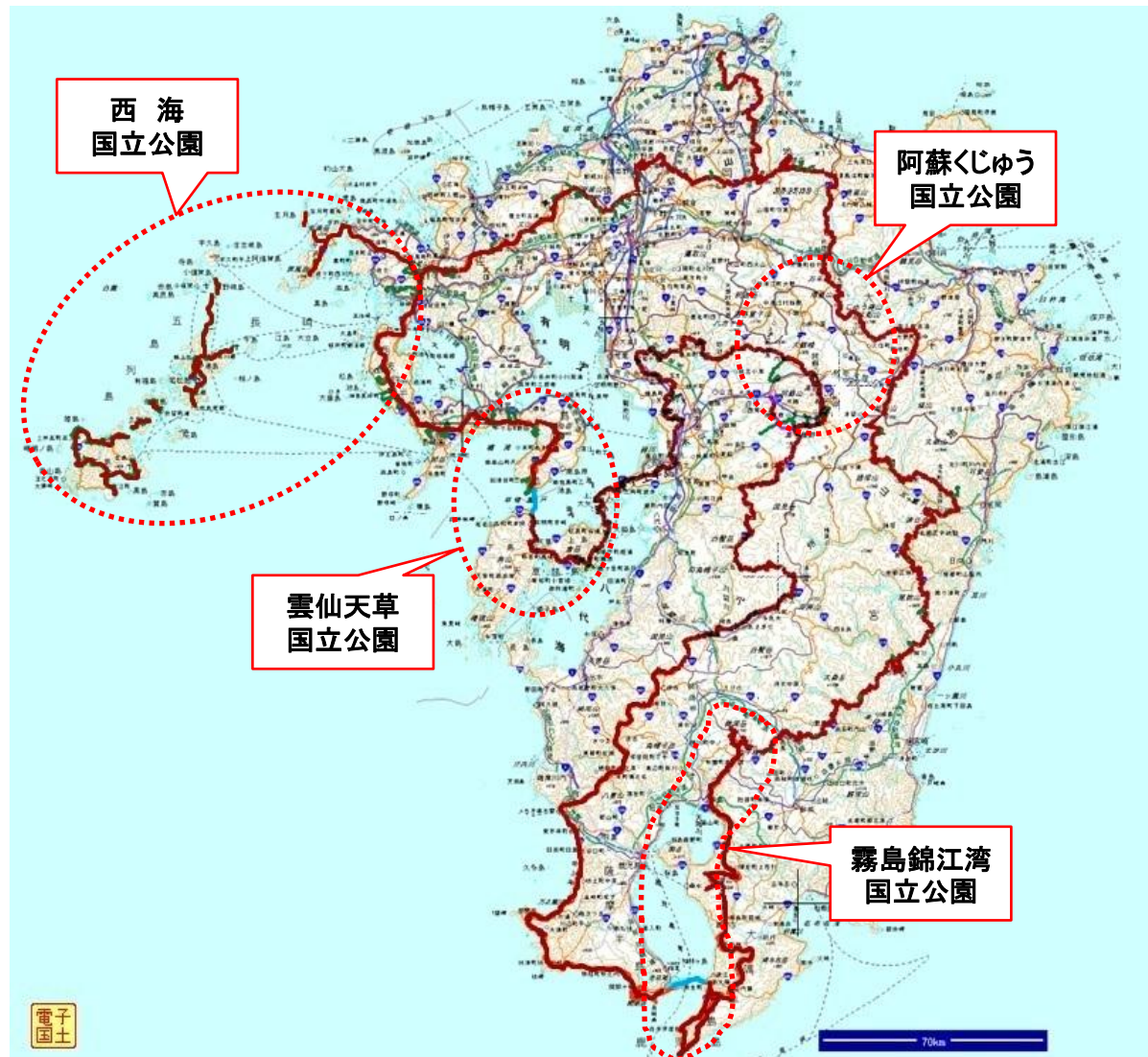
国立公園における九州自然歩道の管理等に関する 行政評価・監視

〈調査結果に基づく所見表示〉

参考資料（全体版）

平成 26年 3月 26日
九州管区行政評価局

九州自然歩道(全体地図)



九州自然歩道現地調査区間（阿蘇地域）

九州自然歩道
当局の調査区間

- ①宮地－桜ヶ水 3.5km
 - ②東小堀－桜ヶ水 2.5km
 - ③桜ヶ水－小倉原 11.4km
- ①～③熊本県執行区間(注)
計 17.4km

公共標識 59本

(注) 熊本県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間



九州自然歩道現地調査区間(くじゅう地域)

九州自然歩道
当局の調査区間

①長者原一坊ガツル 4.315km

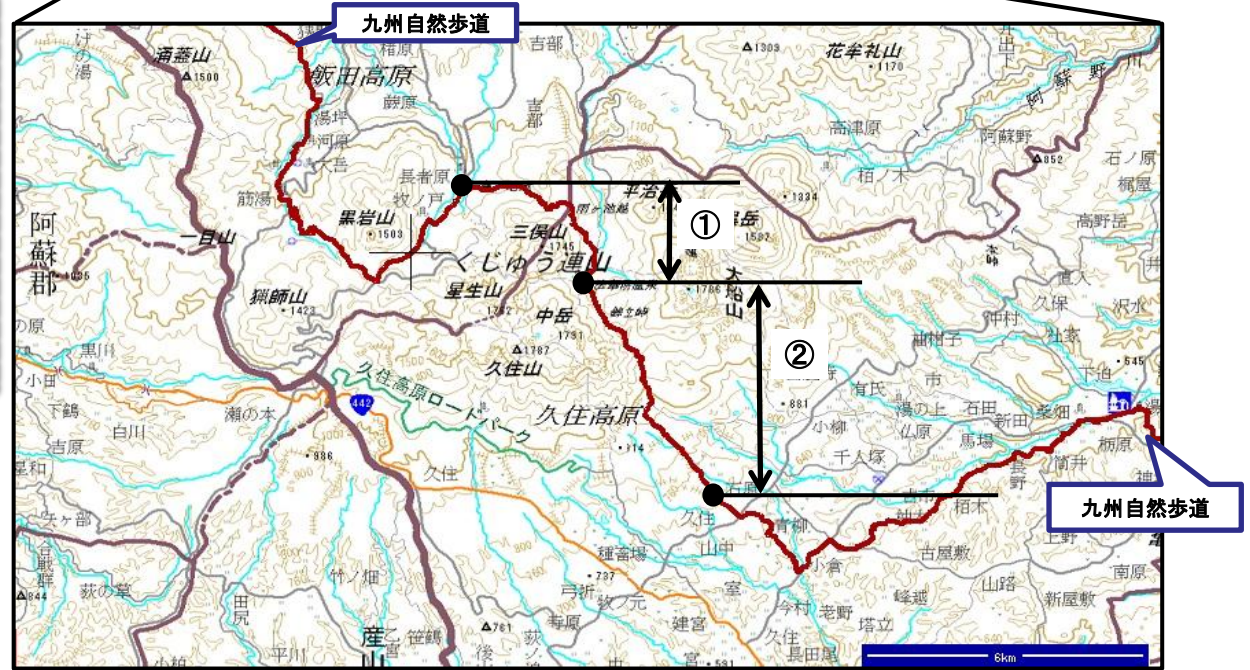
国執行区間(注)

②坊ガツルー国立公園境 7.0km

大分県執行区間(注)

計 11.315km

公共標識 114本



(注) 国執行区間とは、環境省が歩道を整備し管理を行っている区間。大分県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間

九州自然歩道現地調査区間（霧島地域）

九州自然歩道
当局の調査区間

①湯之野—新燃岳周辺 6.6km

未執行区間(注)

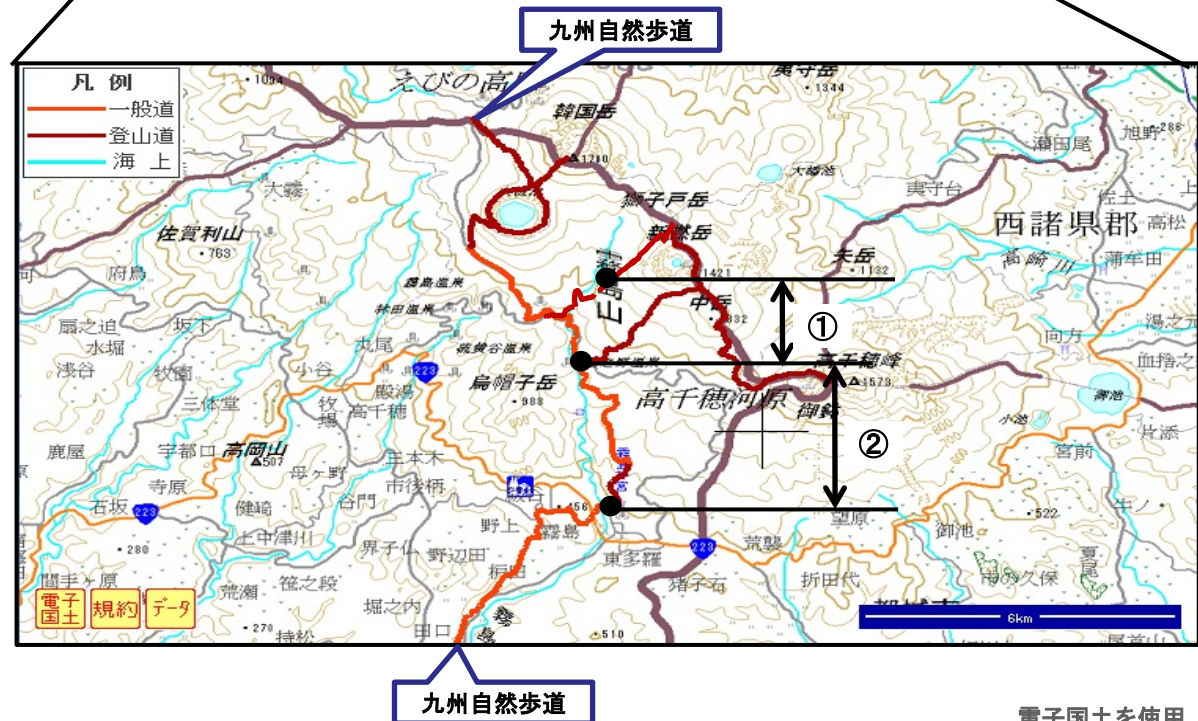
②湯之野—霧島神宮 4.9km

鹿児島県執行区間(注)

計 11.5km

公共標識 11本

(注) 未執行区間とは歩道の整備が行われていない区間。鹿児島県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間



電子国土を使用

九州自然歩道のルートが表示位置がハイカーズマップと国土地理院の地形図で異なっている事例

○ 阿蘇市西湯浦（元小屋）付近



○ 阿蘇郡高森町上色見前原前原谷付近



九州自然歩道ポータルサイトのトップページ

KYUSHU NATURE TRAIL
九州自然歩道ポータル

九州地方環境事務所 九州自然歩道ポータル
ハイカーズマップ | ハイカーズマップの使い方 | ニュース&トピックス | 緊急情報 | リンク

ハイカーズマップ
各県の九州自然歩道の情報を提供します。マップをクリックしてください。

ハイカーズマップ

- 福岡ハイカーズマップ
- 佐賀ハイカーズマップ
- 長崎ハイカーズマップ
- 熊本ハイカーズマップ
- 大分ハイカーズマップ
- 宮崎ハイカーズマップ
- 鹿児島ハイカーズマップ

緊急情報

- 霧島山(新燃岳)の火山周辺規制について(更新情報)

ニュース&トピックス

- ハイカーズマップ公開のお知らせ

お問い合わせ先
九州地方環境事務所 国立公園・保全整備課
TEL: 096-214-0336 Fax: 096-214-0350
E-mail: KYUSHU_TRAIL@env.go.jp(スパムメール防止のため@を○で表記します)

プライバシーポリシー | サイトマップ | ヘルプ
2012九州地方環境事務所

<http://kyushu.env.go.jp/naturetrail/>

当局が指摘した主な事例

○ 歩道について、崩落等により利用者の通行が困難等となっているもの

熊本県執行区間



上方から
撮影



下方から
撮影

上下の写真は
同一箇所。土
砂の崩落によ
り階段の杭が
露出している。

上下の写真は
同一箇所。赤
の破線が九州
自然歩道ルー
トだが、歩道が
崩落している。



下方から
撮影



上方から
撮影

当局が指摘した主な事例

○ 歩道について、倒木等により通行困難

熊本県執行
区間



歩道が、長さ約10m、幅約4.5m、高さ約5mにわたって崩落した土砂、倒木等に覆われており、利用者の通行が困難となっている。

○ 歩道について、木橋、階段が破損

国執行区間



木製の橋に穴が空いている。ちなみに橋の下は崖となっている。

大分県執行
区間



階段が傾いている。傾いている方向は崖となっている。

当局が指摘した主な事例

- 歩道について、障害物が設置されているなどにより通行に支障が生じており、利用者の利便確保が十分に図られていないもの

熊本県執行区間



九州自然歩道ルート上に放牧牛逃走防止用の有刺鉄線が張られているため、利用者は地面からの高さ約50cmの有刺鉄線をくぐって通行しなければならない。

大分県執行区間



九州自然歩道ルート上に門扉が設置されているため、利用者は門扉の横の隙間（20～30cm）をすり抜けて通行しなければならない。

当局が指摘した主な事例

- 歩道の分岐地点に案内標識が設置されていない、設置場所が不適切などにより、利用者の安全確保が十分に図られていないもの

国執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



大分県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



熊本県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



鹿児島県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が奥まった位置にある案内標識を見落とし、青の矢印の方向に進むおそれがある。



当局が指摘した主な事例

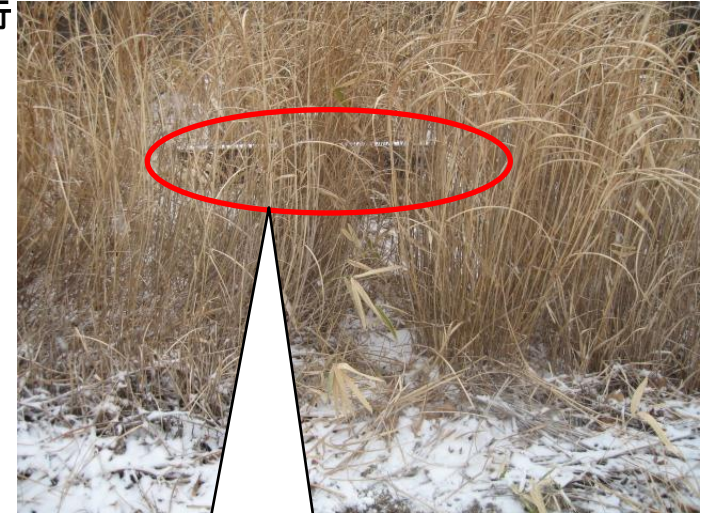
- 公共標識について、倒壊、記載されている文字の判読が困難などにより、利用者の利便確保が十分に図られていないもの

国執行区間

案内標識に「←0.5 km長者原・雨が池 2.4km→」と表示されているものの、風化・劣化により、見えにくい。



大分県執行区間



案内標識が草に覆われており、利用者が気付きにくい。

熊本県執行区間

種別不明の公共標識が倒壊している。



当局が指摘した主な事例

- 柵（手すり等）が破損しているなどにより、利用者の安全確保が十分に図られていないもの

熊本県執行区間



急な階段に設置された柵が壊れている。

大分県執行区間



柵の支柱が傾き、柵に張られたロープも緩んでいる。周辺には柵外が崖となっている箇所もある。